

片口小学校活動報告

◆活動取組みの紹介

【ありがとうの木】

友達の素敵な言動や友達に「ありがとう」と言いたいことを付箋に書き掲示した。また、自分のよいところ（「自分にありがとう」）も書くようにし、自己を認め他者と認め合う機会とした。



〈ありがとうの木〉

【あいさつ運動】

さわやか委員会が中心となりあいさつ運動を行った。全校児童からもボランティアを募って取り組み、挨拶の輪を広げた。

【募金活動】

さわやか委員会で、ポスターや校内放送で全校児童に協力を呼びかけ、赤い羽根共同募金や書き損じはがきの回収に取り組んだ。また、募金活動に合わせて、ユニセフがどのような活動をしているのか、取組や精神について校内放送で紹介した。



〈全校集会〉

【福祉体験】

5年生は総合的な学習の時間で福祉について学習した。各種体験活動を通して、福祉の理念や実社会における課題について考えた。

【全校集会】

さわやか委員会で、挨拶や言葉遣い、人を助ける心に関する全校集会を開催した。寸劇やクイズを交えながら発表し、全校児童がボランティア精神について考えた。

◆活動していてやりがいや喜びを感じる時

（子供の声）

- ・募金の使われ方についてくわしく調べ、みんながボランティアに興味をもってくれるように工夫しました。能登半島地震などで困っている人のために役に立ちたいという思いを伝えることで、たくさんの方が協力してくれてうれしかったです。
- ・ユニセフの活動について調べ、全校のみんなに放送で紹介しました。人のために活動することの大切さについて考えることができました。

◆最後にひとこと

さわやか委員会では、ボランティア活動を牽引するために、委員の一人一人が理解を深め、活動意欲を高めていきたい。そのために、ボランティアの考え方に関する学習を取り入れたい。